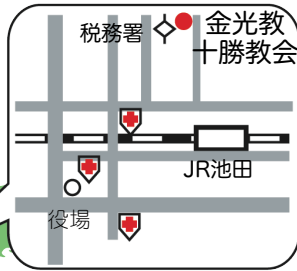


No.83. 2019. Nov.

11月・立教160年 生神金光大神大祭号

TEL 015-572-2322  
FAX 015-572-4213



金光教十勝教会  
〒083-0001  
池田町旭町1



# 十勝教会 だより 83



十勝教会  
Facebook



十勝教会  
ホームページ



金光教  
公式HP

<http://kontoka.webcrow.jp>

Facebook 「金光教十勝教会」

当時教祖様は、赤沢文治と名乗り  
備中大谷村（今の岡山県浅口市金光町）  
で農業を営んでいました。  
何事にも実意丁寧な性格のうえ経  
営の才覚もあったようで、文治さん  
が家督を継いでから赤沢家は田畑や  
財産が年々増えていきました。しか  
し家内には不幸が続ぎ、家族五人、  
牛二頭を亡くし、ついに文治さんも  
四十一歳（数え四十二歳）のとき重病に  
罹ります。医者に診てもらいますが  
手の施しようが無く、明日をも知れ  
ぬ重態になってしまいます。

今年には教祖生神金光大神様が天地  
金乃神様から「家業である農業をや  
め、神前奉仕に専念せよ」との願い  
を受けてからちようど百六十年にな  
ります。この出来事を金光教では立  
教といっています。

立教百六十年生神金光大神大祭を迎えて  
「信心すれば助けしてくれる神様がいます」

そこで家族や親戚が集まり病氣  
平癒のご祈祷をしてもらうことにな  
るのですが、祈祷中に親戚の一人が  
神がかりになり「家の増改築はじめ  
数々の事柄のなかで金神に無礼があ  
り、その結果家族が亡くなり、文治  
も生死をさまよう重病になった」と  
のご託宣がありました。



本部・立教160年生神金光大神大祭  
金光教本部祭場(令和元年10月10日)

しかし、何事にも丁寧でしかも信仰心の篤い文治さんの姿を知っている人たちは困惑し「文治に限って金神様に無礼などない」と反論していましたが、文治さん自身は体の自由がきかないなかで、「みんなそう言いますが、私は何も知らないただの凡夫ですので、一体何が金神様へのご無礼になったのかさえ分かりません」と心中で応えられました。

すると神様は文治さんに対し「お前のそのような心得はよい」とお許しが出て、しばらくすると病状もおさまり回復したのです。

後年、神様は「文治だけでは無く、この家では代々金神に無礼があり、それを分からせるために不幸が続いたが、実意丁寧に神信心するから文治は助かった」とお知らせくださっています。（ちなみに金神とは当時は崇神として忌諱されていた神様ですが、後に天地金乃神であることが明らかになります）。

○ 金神様にお許しをいただき病気が治った文治さんは、農業を続けながら、当時崇神と恐れられていた金神を神と仰ぎ、篤く敬うようになります。

そのうち文治さんは神様から農業や生活ついて様々なお知らせを受けるようになります。

外仕事をするときに天気のお知らせをいただく、神様のお知らせ通りに畑仕事をするると他の畑より質が良いのものが獲れるなど目に見えるおかげ（利益）がありました。

そうなること次第に文治さんの許へ「自分のことも神様にお伺いをたててくれ、願ってくれ」という人々が参るようになり、しかも日ごとにその人数が増えていきました。

そして安政六年十月二十一日（新暦の十一月十五日）、神様から「家業である農業をやめ、神前奉仕に専念せよ」との願いを受け、以降、文治さ

んは農業を止め自宅の御神前に奉仕されることになります。



金光町木綿崎山にある  
金光教教祖奥城（お墓）

○ さて、ここで少し考えてみたいのですが、なぜ当時村の中でもいわゆる勢いのある農家であった文治さんが、神様の命令とは言え、家族もあるなかで（長男はまだ十四歳）、その安定した生活を捨て、神様のご用に専念することに決めたのでしょうか？

そこには、「神様にいのちを助けてもらった」というお礼の意味もあったのでしょうか、それ以上に「たとえ代々神様に対して無礼があっても、本人が信心をすれば助け

でも「もらえる」ことを自ら体験し、なにより「信心すれば助けてくれる神様がいます」という確信を持たれたからではないでしょうか。そして、さらに信心を進めるなかで、「神様の仰せに従えばおかげがある」ということに自信をもたれたのだと思います。

神様の仰せに従っていただく「おかげ」とは教祖の家族自体の立ち行きでもあるでしょうが、教祖の許へ願いに來る人々も神様に助けられ立ち行く、自分以外の難儀をしている人々たちも「信心すれば助けてもらえる」という確信があったのではないのでしょうか。

○

「自分自身が神様に助けていただき、信心してさらなるおかげをいただく。その事実感動し、自分以外の人の助かりを願われるようになる。」

それは各教会の初代教会長をはじめ教祖様以外の多くの先人が体感さ

れ実践されてきたものでもありません。

教祖様や初代先生たちが生きてこられた頃と時代は大きく変わりましたが、「信心すれば助けてくれる神様がいます」、「信心すればおかげある」という事実は変わりません。信心している私たちが「神様のおかげは本当にあるのだろうか？」と疑問に思っているだけかもしれません。

教祖様や先人のみなさんが「信心すればおかげはある」と仰ったのは、実際におかげをいただいていた事実があるからです。

私たちも信心を持って信心をする。そして信心しておかげをいただき、おかげをいただいたそのお礼の心で、人の立ち行きを願えるようになりましょう。

## 金光教十勝教会

### 教会設立百年記念祭

令和二年七月十二日(日)

午前十一時

## 金光教十勝教会これからの祭典行事日程

- 薰別講社 立教160年生神金光大神大祭  
12月5日(木) 午前11時
- 越年感謝祭(年越大祓)  
12月31日(火) 午後1時30分
- 元日祭  
令和2年 1月 1日(水) 午後1時30分
- 薰別講社 年頭祭  
令和2年 1月 5日(日) 午前11時

※日程は変更になる場合があります

## エンディングノート「道しるべ」

教会で配布しています。自分の人生を見つめ直し、家族や後を任せたい人に自分の願いを伝えるために活用してみませんか。

**1 プロフィール**

「人はみな、神様から命を授けられ、この世にただ一つのいのちとして誕生します。神の子としてしっかりと生きてほしいとの神様の願いを記しておくことです。私たちは誰かが何物にも代えがたい願いをのこすのです(イザヤ書49:15)」

ふりがな 名 前 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

現住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ (FAX番号) \_\_\_\_\_

携帯電話番号 \_\_\_\_\_

出生地 \_\_\_\_\_ 本籍地 \_\_\_\_\_

血液型 \_\_\_\_\_ 干支 \_\_\_\_\_ 星座 \_\_\_\_\_

メールアドレス(携帯) \_\_\_\_\_

メールアドレス(PC) \_\_\_\_\_

資格・免許 \_\_\_\_\_

性格 \_\_\_\_\_

その他、社会的な経歴、日課としてのことなど \_\_\_\_\_

緊急時の連絡先: 名前、関係、連絡先(電話番号など)

・名前 \_\_\_\_\_ 関係 \_\_\_\_\_ 電話番号など \_\_\_\_\_

・名前 \_\_\_\_\_ 関係 \_\_\_\_\_ 電話番号など \_\_\_\_\_

・名前 \_\_\_\_\_ 関係 \_\_\_\_\_ 電話番号など \_\_\_\_\_

記入年月日: \_\_\_\_\_ 更新年月日: \_\_\_\_\_

教会日誌（令和元年8月1日～10月31日まで）

8月2日 北海道教区少年少女キャンプ「みどりのひろば」、旭川市江丹別若者の郷、4日まで、5名参加。



写真-みどりのひろば

旭川にある江丹別若者の郷キャンプ場を会場に、ペットボトルロケット（左上）やキャンプファイヤー（右下）、バーベキュー（左下）を楽しみました。

8月7日 帯広市、M家、三柱霊神式年祭。

8月18日 教会設立記念祭・布教功労者報徳祭並びに三代教会長三年祭。



写真-教会設立記念祭・布教功労者報徳祭  
三代教会長三年祭  
教会役員・信徒総代が御神前に教会設立のお礼の玉串をお供えし（上）、参拝者全員が三代教会長はじめ布教功労者のみなさんに玉串をお供えしました（下）。

8月21日 浦河町、T家、葬儀式。

8月24日 本部輔教研修会、一名参加、25日まで。

9月6日 音更町、M家、例年感謝祭・例年霊祭。

9月7日 「神人あいよかけよの生活運動」合同地区集会、会場・十勝教会。

9月7日 道東地区教会連合会交流会、会場・十勝教会。

9月8日 KONKOW講座、会場・十勝教会。

9月10日 美瑛町、I家、三柱霊神式年祭。

9月23日 秋季霊祭。

9月13日 函館教会布教年祭、三代教会長式年祭、みよ子先生参列。

9月10日 金光家先祖祭、教会長参拝。



写真-「神人あいよかけよの生活運動」  
合同地区集会（右上下）  
道東地区教会連合会交流会（上左）  
今年の地区集会は立教160年を記念して、函館、札幌、旭川、十勝の道内4会場をインターネット回線で結び、同時中継方式の集会を行いました。  
集会終了後、道東地区の教会のみなさんで交流の懇親会を開催しました。



9月28日 札幌市、T家、式年祭。

9月29日 音更町、M家、式年祭。

10月2日 浦河町、T家、合祀祭・納骨祭。

10月10日 北見市、K家、葬儀式。

10月10日 本部・立教百六十年生神金光大神大祭、教会長参拝。

10月20日 釧路教会大祭、みよ子先生教話ご用、交流参拝。

10月27日 網走教会大祭、教会長教話ご用、交流参拝。

10月27日 帯広市、I家、葬儀式。



写真-KONKOあれこれ塾「金光教の終活」  
今年から始まったKONKOあれこれ塾。お葬儀の実情など終活について金光教の信心に基づいて考えてみました、またエンディングノートの書き方の講座が行われました。

## 立教百六十年 生神金光大神大祭次第

- ・ 「親神のよざしのままに」 斉唱
- 一、 参 向 (祭員入場)
- 一、 拝 礼
- 一、 「神前拝詞」 奉唱
- 一、 「取次唱詞」 奉唱
- 一、 祭主 祭詞奏上
- 一、 祭主 玉串奉奠
- 一、 「天地書附」 奉体
- 一、 参拝者代表 玉串奉奠
- 一、 「金光大神賛仰詞」 奉唱
- 一、 拝 礼
- 一、 退 下 (祭員退場)
- ・ 吉備舞奉納
- 「恵の露」
- ・ 「立教神伝」 奉読
- ・ 教 話
- ・ 教 会 長
- ・ 「立教百六十年御礼祈願詞」 奉唱

### ♪ 親神のよざしのままに ♪

- 1 親神のよざしのままに  
わが生神金光大神
- 2 取次の道立ちしより  
代々を経て今につづけり  
神からも氏子からも  
両方の恩人なりと  
親神ののらし給える  
生神を賛えまつらん
- 3 神のひれ 木綿崎山に  
照り映えて日の光なす  
取次の道の靈光を  
とこしえに仰ぎまつらん

### 食 前 訓

食物は みな人のいのちのために  
天地乃神のつくり与えたもうものぞ  
何を食うにも 飲むにも  
ありがたくいただく心を 忘れなよ

### 食 後 訓

体の丈夫を願え 体をつくれ  
何事も体がもとなり